

杉野一博 選 ★

七月や私の胸のぞくろ石

余計なこと書かず焦点絞つたのがいい

木宮節子 ★

シベリヤの風をまともに青岬

青岬がかえつて鮮明になる

松原智津子 ★

曇天のシニールな鳥の巴里祭

中七の把握が面白い

滝田慶子 ★

聖五月あついでームの銀の屋根

あついは暑いか厚いか  
「聖五月ドームの銀の光る屋根」

伊東次雄 ★

山百合が思い出の中咲いている

素直に言いすぎた

森山圭悦

巴里祭よいとまけのうたつばやいて

つばやいてに実在感がある

山本俊郎

駒ヶ岳梅雨星ひとつ屋根のきは

梅雨星の描写 優れている

松原智津子

シャチの群れ一角崩す半夏生

一角ほどの一角か 場面のなかか

滝田慶子

うなだれて打たれてみたり雨の薔薇

すらりとした抒情

船矢美雪 ★

喧騒に野良牛一つ油照り

中七「野良牛のくる」だろう  
「喧騒に野良牛のくる油照り」

森山圭悦 ★

南風みやまおだまき海を向く

季節の情景 簡潔にとらえた

山本俊郎 ★

白みゆく花アカシアに風一つ

風一つがきている

上澤孝二

夏の夜の背中に泳ぐ魚かな

模様をそのまま泳ぐ魚にしたのいい

滝田慶子 ★

紫陽花や滑舌速き熟女たら

やはり くだいと思う

船矢美雪

眠り姫になりたる友やアマリリス

眠り姫が哀切

木宮節子

海の日や登舷礼の笛ながく

笛ながくが場景を際立たせた

山本俊郎 ★

七月の書肆に戦中歌集あり

この視線がいい句につながった

上澤孝二 ★

夏寒し六腑のひとつとられけり

季語が効果的

伊東次雄 ★

アカシアや放送室ですれ違ふ

思い出の場面すりげなく浮かぶ

船矢美雪 ★

新じゃがの白いスープとドイツパン

物だけを置いたのが効果的

木宮節子 ★

深山を来し水青田浸しけり

水の流れと勢いが見える

松原智津子 ★

鉄棒の下のさざなみ夏の暁

中七の把握に情感豊か

上澤孝二 ★

けふ生きて葉桜の空見上げけり

上五実感だろうがナマ過ぎる

伊東次雄

富士山の屹立している雲の峰

「富士山と」で雲の峰の勢いさらに増す  
「富士山と屹立している雲の峰」

森山圭悦 ★

文鎮に町名伸びてくる七月

杉野一博 ★

紫陽花や年表から指離れずに

杉野一博 ★